

第5回理事会開催案内

1. 日程・会場：9月20日（日）10：00～12：30 東町会館2階集会室

2. 議題

1) 第4回理事会議事録の確認

2) 委員会報告と関連事項の審議

- (1) 広報委員会（8月22日）報告
- (2) まちづくり計画策定委員会（9月4日）報告
- (3) 防災委員会（9月13日）報告
- (4) キャンドルロード実行委員会（9月11日）報告
- (5) 夏祭り反省会（9月12日）報告
- (6) 夏休み自習室事業の結果報告

3) 自治会・団体間の連絡・相談事項

- (1) 公民分館
- (2) 福祉委員会

4) その他

- (1) ひがしおか発行費用とその負担について
- (2) 北町府営住宅建替え工事期間中の東町府営住宅利用について
- (3) 豊中市魅力創造課とよなか創造界限アートプロジェクトについて
- (4) 豊中市コミュニティ助成事業について
- (5) 千里幹線バイパス管工事のお知らせ
- (6) ㈱日本特殊地図協会発行の「新千里東町地域自治協議会区域図」について

5) 第6回理事会日程 10月24日（土）10：00～12：30 3-3自治会集会室

以上

理事会出席者へのお願い

1. 理事自身が出席出来ない場合は、代理の方に出席頂くようご高配ください。
2. この理事会の議事内容を貴団体内の関係者に周知頂くとともに、次回理事会議案の内、関わりのある案件については、貴団体内で話し合いの上ご出席ください。
3. 理事会等の会議は情報公開を基本としております。東町に関係のある人であれば、理事以外のどなたでも理事会等にオブザーバーとして出席頂くことができます。
4. 理事会等で議論した内容は、奇数月発行の広報紙「ひがしおか」及び協議会専用ホームページ (higashimachi.jimdo.com) に掲載します。

平成 27 年度 第 1 回 広報委員会議事録

開催日時：平成 27 年 8 月 22 日（土） 午前 10 時～11 時

場所：東町会館 1 階集会室

出席（敬称略）：小川 浩一（OPH）、倉垣 孝夫（自主参加）、竹花 公雄（メゾン千里）、寺村 三郎（分館） 欠席 玉富 香代（自主参加）

資料：名簿・担当業務・広報手順について・ホームページのご案内

議事

1. 広報委員会 担当業務について

担当業務内容の確認後、分担は次の通りとなった。

- 広報誌「ひがしおか」協議会ページの編集 発行は奇数月 通常 3 ページ
 - ✓編集委員として全体編集方針の調整（偶数月 木曜日午前） 寺村
 - ✓協議会ページの調整・原稿依頼 寺村
 - ✓協議会ページ編集など 倉垣
- HP「地域自治協議会」の編集・管理 倉垣
- 理事会報告の作成（ひがしおか及び HP 用） 玉富・竹花
- 公共掲示板の管理 （問題発生時に対応します） 全員で
- その他 自治協議会の広報に関すること

2. 自治協議会 広報手順について

広報記事は、原則、最初にホームページに掲載し、その内容をもとにひがしおか記事を編集する手順を確認した。

3. その他

(1) 1 丁目への掲示について

地域には 7 か所の公共掲示板があるが、1 丁目には掲示する場所がないので、まず、セルシー-1 階案内所付近への掲示について、セルシーと協議することになった。

(2) 9 月理事会報告

本日の資料に「公共掲示板利用基準」を加えて、9 月理事会で報告する。

以上

地域自治協議会 広報手順について

2015年8月22日

新千里東町地域自治協議会 広報委員会

- **地域自治協議会の広報媒体として、広報誌「ひがしおか」、ホームページ、掲示板、各戸配布等が利用できます。**（団地掲示板・各戸配布：必要数は交流室でご確認ください。公共掲示板：ホームページ広報委員会記載の利用基準を守ってください。）
- **情報発信の責任部署（委員会または事務局）が、広報コンテンツを作成し利用媒体を決定します。**

協議会ホームページおよび「ひがしおか」への掲載手順

● 協議会ホームページ（2015年8月現在の協議会ホームページを前提）

原則、依頼されたすべてのコンテンツを掲載します。ただし、そのレイアウトなどは広報部会にご一任ください。

原則、協議会ホームページに掲載されると、新千里東町 HP にその案内が掲載されます。

| HP タブ | 掲載内容 | 掲載手順（情報はすべて電子媒体で） |
|----------|----------------------------------|---|
| お知らせ | 協議会からのお知らせ | 情報責任部署 → HP 担当へ（決定後早めに） |
| 協議会 NEWS | 協議会活動報告 | 情報責任部署 → HP 担当へ（1週間以内） |
| 総会・理事会 | 総会・理事会からの報告 （概要や総会・理事会資料・議事録） | 概要報告 ：広報委員会（2週間以内）で作成・掲載 総会・理事会資料 ：事務局 → HP 担当へ（総会・理事会終了後2週間以内 ただし、議事録は、次月の理事会承認後速やかに） |
| 委員会 | 委員会からの報告 | 情報責任部署 → HP 担当へ（適宜） |
| 地域自治協議会 | 協議会の紹介・規約など | 事務局 → HP 担当へ |
| お問い合わせ | 協議会への問い合わせ | 広報委員長宛てに配信。対応は広報委員長 |

● 広報誌「ひがしおか」

- 原則、ホームページにある新しいコンテンツを「ひがしおか」に掲載します。
- 紙面の都合によりコンテンツを広報委員会の責任で修正・省略する場合があります。また、紙面レイアウトなどは広報委員会にご一任ください。
- 掲載にあたっての留意事項や新規追加事項があれば、原稿期限（偶数月 15日ころ：発行は奇数月 1日です）までにお知らせください。

● 広報委員会 連絡先

| | |
|---------|----|
| HP 担当 | 倉垣 |
| ひがしおか担当 | 寺村 |

以上

掲示板の管理基準

| | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 対象となる掲示板 | <ul style="list-style-type: none"> ① もみじ橋通り 新千里東町公園表示板前の掲示板 ② もみじ橋通り シティハウス千里中央前の掲示板 ③ 近隣センター 駐車場付近の掲示板 ④ 近隣センター 商店街西側角の掲示板 ⑤ 近隣センター 新千里東町会館付近の掲示板 ⑥ こぼれび通り 長谷池付近の掲示板 ⑦ こぼれび通り あかしや橋付近の掲示板 |
| 2 | 掲示できる物 | <ul style="list-style-type: none"> ① 新千里東町地域自治協議会および協議会の代議員を選出している団体(新千里東町地域自治協議会規約別表1の団体)が発行する掲示物。 ② ①の団体が認めた掲示物。 |
| 3 | 掲示期間 | <ul style="list-style-type: none"> ① 催しの当日、または期間の最終日まで。 ② 期日のない内容の掲示物は、3か月間。この場合は、期間終了後に撤去し、同じ内容の掲示物を新たに掲示することができます。 |
| 4 | 掲示物の要件 | <ul style="list-style-type: none"> ① 掲示物の大きさは、A4判、タテ型とします。ただし、2の②の掲示物でA4判を超える場合(公共機関等の発行物など)、掲示スペースに余裕があれば掲示できるものとします。 ② 掲示物には、発行者(団体名)、連絡先、掲示期間を記載してください。2の②の場合は、掲示を認めた団体名の記載も必要です。 |
| 5 | 掲示物の掲示・撤去 | <ul style="list-style-type: none"> ① 掲示物は、発行する団体の責任で掲示・撤去するものとします。 ② 掲示期間を過ぎているもの、管理基準を守っていないもの、大きく破損・汚損したものは、管理者が撤去して処分する場合があります。 |
| 6 | 管理者 | 新千里東町地域自治協議会 広報委員会 |

(参考)新千里東町地域自治協議会規約別表1の団体

地域別団体:

メゾン千里理事会、新千里桜ヶ丘自治会、新千里東町アーバンライフ自治会、OPH新千里東町自治会、ガーデンヒルズ千里中央管理組合、シティハウス千里中央自治会、ジオメゾン新千里東町自治会、新千里東町商店会、UR都市機構新千里東町自治会、グランドメゾン千里中央東丘自治会、新千里東町3-3自治会、ローレルコート新千里東町あかしやの丘自治会、ジェイグラン千里中央自治会、ザ・千里タワー、ザ・千里レジデンス

課題別団体:

東丘公民分館(分館)、東丘校区福祉委員会(福祉)、豊中地域防犯東丘支部(防犯)、東丘地区民生・児童委員会、東丘新聞委員会、校区健康づくり推進員会、東丘女性防火クラブ、東丘体育協会、ひがしまち街角広場、千里グッツの会

世代別団体:

東丘小学校PTA、東丘子ども教室、東丘ダディーズクラブ、第八中学校PTA、八中おやじの会、青少年健全育成会、人権教育推進委員協議会、第八中学校区地域教育協議会、八千代クラブ、エルダー東町、あかしやの丘シニアクラブ、ガーデンヒルズシニア連絡網の会、桜ヶ丘シニアクラブ、ジオメゾン新千里東町シニアクラブ、東町3の3シニアクラブ、グランドメゾン千里中央東丘シニアクラブ、日本ボーイスカウト豊中第14団、ガールスカウト大阪第61団

9 月度 まちづくり計画策定委員会 会議録

【日 時】 2015 年 9 月 4 日(金) 19 時 10 分～21 時 10 分

【場 所】 新千里東町会館 1 階集会室

【出席者】 副委員長:今井琢磨・井上朱子、委員:阿部悟・植本祥子・石丸誠子・須藤登喜江・山地光男 欠席:清水博文・福岡正輝・国枝泰子・植田泰史・尾島道長・柳原一之・水野和美・太田博一 事務局:山田秀樹

【決定事項】

1. 委員長清水博文氏欠席のため、副委員長今井琢磨氏を委員長代行とした。
2. 1 丁目マンション及びステラハイツの入会希望 3 名から協賛金を支払い頂いた。
3. 医療法人千里中央病院から東町に対する講師派遣等のサービスについては原則として無償にて提供されることになった。(医師を除く)
4. 地域コミュニティの活性化(自治会活動の活性化)に関して、委員に事前に配布した協議会取りまとめ資料について説明するとともに、事務局作成の検討資料に対し、次回委員会に意見をもち寄るよう依頼した。

【次回の会議】 2015 年 11 月 6 日(金) 19 時 10 分～ 新千里東町会館 1 階集会室

【特記事項】 ー地域コミュニティの活性化(自治会活動の活性化)に関してー

1. 委員各位に、活性化を検討する前に東町の概要を理解願うため、コミュニティ活性化に係る自治会(管理組合)からの意見(2013 年)、自治会(管理組合)の組織とそれぞれが抱える問題点・課題(2011 年)、東町主要 4 団体と自治会との関係、及び地域自治協議会が発足以来現在に至るまでの活動経過等を説明した。
2. 東町の地域コミュニティの活性化策を検討するため、現在及び将来予想される問題と課題について素案を説明し、次回委員会までにそれぞれ検討願ひ、所見を披歴頂くこととした。
3. 次のような意見交換があった。
 - ・高齢者の寝たきり防止対策が重要と思うとして、これに関する実施状況について質問があり、福祉委員会から、「ふれあいサロン」を毎月 1 回開催しているが、残念ながら実施会場が 2 階という点が一因となり、参加者が少ない。なお、次回サロンにおいては、千里中央病院から理学療法士に来て頂き勉強会を予定している旨報告があった。
 - また、3-3 自治会から、毎月 2 回開催している 3-3 広場には毎回 40～50 名の参加がある、いろいろと工夫しており、成果をあげている旨報告があった。
 - ・乳幼児の子育てに関する質問があり、福祉委員会から、従来から実施していた毎月 1 回開催の 2 歳児までの子育てサロンに加え、0 歳児対象の子育てサロンを毎月 1 回追加した。毎週実施を希望する地域ニーズに対しては、対応する人材が足りないため、現在は月 2 回にとどまっている旨報告があった。

- ・不用品交換もニーズがあるのではないかとこの意見に対し、桜ヶ丘自治会の桜ヶ丘フェスタ（11月30日～12月1日）における不用品交換イベントの紹介があった。
- ・地域の仕事は、担当の団体が重要と考えて実施していると思うが、依頼されるPTAにとっては、本来なすべき仕事と頼まれる仕事が半々になり多過ぎると感じている。役員を回避したいと考える大きな原因になっている。どうしてもやらなければならないものを絞り込んで計画し、依頼してきてほしい。
- ・PTAの中に、子どもが小学校在学中は自治会加入していないと自分の子どもが他の子どもと同じ扱いを受けられない（ラジオ体操の例）ため加入しているが、小学校を卒業したら自治会を退会するという意見が少なからずある。自治会役員の負担感も大きいようだ。
- ・小中学生に防災活動に参加させる発想は良いと思う。
- ・東町キャンドルロードは、各団体宛に参加を要請せずに、東町の住民の中から自発的に集まるボランティアだけで出来る範囲の計画でよいのではないか。もみじ橋通り沿いの団地では、今年もみじ橋通りで実施しないので、参加しないで済むとの意見もあった。
- ・東町キャンドルロードは、千里キャンドルロードが実施する年は休み、観て楽しむ年とする発想もあったのではないか。（隔年実施という主旨）

以上

9 月度防災委員会 会議録

【日 時】 2015 年（平成 27 年）9 月 13 日（日）10 時～11 時 45 分

【場 所】 新千里東町会館

【出席者】 委員長＝河野希（UR）、副委員長＝西村（グランドメゾン）

福田（メゾン千里）、定末・後藤（シティハウス）、北島・今井（アーバンライフ）、松井・池田（桜ヶ丘）、関・長屋（ジオメゾン）、古橋（都市機構）、仲野（ローレルコート）、木下・清原（グランドメゾン）、森下・尾園（3の3）、今井（福祉）、山地（防犯）、石丸（女性防火） 計 20 人

事務局＝山田・玉富

オブザーバー＝北消防署新千里出張所第 2 グループ（牧山所長、ほか 1 人）

【決定事項】

- ・ 今年度の防災訓練は、10 月 25 日（日）9 時 15 分～12 時 30 分に東丘小学校で、安否確認訓練、避難誘導訓練、防火・防災体験訓練の三つを実施する。
- ・ 防災マニュアルは、今回提示したシンプル案を基本とする。今後、検討を重ねて修正を加えていく。

【案件と概要】

1. 開会

○ 北消防署新千里出張所・牧山所長より

- ・ 日頃の消防活動への協力のお礼
- ・ 防火・防災には、日頃からの備えや訓練が大切。今回の訓練を、消防署としてもバックアップしていく（はしご車は、小学校への進入経路の傾斜が急で入れないため、派遣を取りやめ）。

2. 防災訓練について

○ 河野委員長より

- ・ これまでに実施してきた訓練をふまえて案を作成した。
- ・ PTA にも協力を依頼している。各団地（自治会・管理組合）で、避難誘導の段階から一緒に取り組んでほしい。
- ・ 理事会で報告し、自治会など各団体に広報等の協力を依頼するが、防災委員の皆さんも、知り合いなどに参加を呼びかけてほしい。

○ 10 月 25 日（日）9 時 15 分～12 時 30 分に、安否確認訓練、避難誘導訓練、防火・防災体験訓練の三つを実施する。

○ 安否確認訓練については、福祉委員会と民生委員が、市に要援護者登録をしている人を

対象に行う（防災委員会が主体的に取り組むのではない。必要に応じて協力する）。

- 避難誘導訓練については、各団地で決めた方法により集合し、小学校までの避難経路（訓練では通学路を使用）を確認しながら避難する。到着後、本部に、避難者名簿（様式あり）を提出する。

3. 防災マニュアルについて

- 前回の防災委員会で刀根山校区の防災マニュアルを配布し、委員の皆さんから意見をいただいた（配布資料参照）。
- 東町版マニュアルについては、刀根山版のように分厚いものではなく、シンプルな案を作成した。

（マニュアル案についての主な意見）

- ・ 「建物安全チェックリスト」のチェック2（基礎・構造体の点検）は、地域で実施するのは困難。チェック1を実施し、専門家による診断を行政に要請しながら、避難所として使うしかない。
東丘校区の避難所は、小・中学校や保育所なので、木造は想定しなくてもよいのではないか。
→ チェック1と、チェック2のうち地域でできるものをピックアップし、一つのチェックリストとして整理する。
- ・ 「建物安全チェックリスト」と「施設安全チェックリスト」は、評価の方法が異なる。合わせておいた方がよい。
- ・ 避難所として指定されている施設が複数ある。それらすべてを見なければならぬのか。体制については、少ない人数で運営しなければならないことを前提にした検討が必要。
→ 複数ある避難所の開設や運営、連絡等については、行政に確認しておく。
- ・ 体制に関しては、緊急に必要な活動と、後から（避難が長引く場合に）必要になる活動があるので、それを考慮した構成にするべき。

【次回の会議】 2015年11月8日（日）10時～ 新千里東町会館

2015年度第2回キャンドルロード実行委員会会議録

【日 時】 2015年8月14日（金） 19時00分～20時30分

【場 所】 新千里東町会館1階集会所

【出席者】 委員長：小川浩一、副委員長：清水博文、会計：勝久恭子、今井琢磨、須藤登喜江、井上朱子、事務局：山田秀樹

【欠席者】 阿部悟、植本祥子、水野和美、室井由美

【報告事項】

- (1) 互選により副委員長として清水博文氏を選任した。
- (2) 全体計画、全体予算、第一回会議の内容を新委員に説明。
- (3) 千里キャンドル、セルシーキャンドルについての説明
- (4) 千里キャンドル委員長との協議内容の説明

【協議事項】

- (1) 開催時間の変更（17時～16時へ。千里キャンドルの開始時間に合わせる。）
- (2) 雨天等により中止の場合、翌11月8日（日）同時刻への順延を理事会にて審議する。
- (3) 単独ビラとは別に、当協議会、千里キャンドル、セルシーキャンドルの三者による合同ビラと合同ポスターを作成したいと申し入れがあった。（叩き台が完成した時点で先方より提示頂く。）
- (4) フォトコンテストの応募方法と各賞の選出方法。（1人1点の申し込み。写真サイズは1MBまでとする。）
- (5) 三ヶ所でスタンプラリーを行うプランあり。（現状プランの提示のみ）
 - (1) ～ (4) について、8月16日の理事会にて審議を行う。

【確認事項】

- (1) 紙コップへの絵描きにはこだわらず、白い紙コップのまま沿道に並べるだけでもよい。
- (2) アソカ幼稚園など各所へ、イベントの紹介と絵描き参加の呼び掛けを行う。
- (3) あかしや橋は狭いので、LEDによる疑似キャンドルを並べる。
- (4) チビッ子職業体験（本部受け付け等を保護者同伴にて体験する。室井校長了承済み。）
- (5) イベントが中止（順延）の場合は、街宣により地域へ周知を行う。また各所にスタッフを配置し、周知を行うものとする。
- (6) 道路占有許可書を千里キャンドルが一括で申請するとの申し出があったので、千里キャンドルと東町キャンドルによる共同主催にて一括申請が可能かどうか、コミュニティ政策課より確認を取ってもらう。（備品購入等、あくまで会計は別）
- (7) 具体的な参加方法（絵描きのみ、紙コップ並べのみなど）の周知ビラを作成する。ひがしおか9月号にて詳細を告知する。
- (8) 模擬店等は来月以降に議論。（豊寿荘より参加の申し出あり。協議会としても予算確保済み。）

【次回会議】 2015年9月4日（金）まちづくり委員会と合同で開催する。

以上

2015年度第3回キャンドルロード実行委員会会議録

【日 時】 2015年9月11日（金） 19時10分～20時55分

【場 所】 新千里東町会館1階集会所

【出席者】 委員長：小川浩一、会計：勝久恭子、室井由美、杉本むつみ、今井琢磨、石丸誠子、須藤登喜江、井上朱子、竹花公雄、福岡鈴子、国枝泰子

【欠席者】 清水博文、伏原基博、植本祥子、水野和美

【報告事項】

- (1) 千里キャンドル作成のサンプルポスターを委員へ提示、説明。
- (2) ダディーズカレーキャンプ、近隣センターミニ電車などでの絵描きの実績報告及び、今後、敬老の集い、ふれあい運動会での絵描き協力を行う事の報告。
- (3) 協議会予算にて模擬店出店の報告。
- (4) 理事会にて、開始時間の変更、雨天などにより中止になった場合は、翌日同時間への順延が承認された旨の報告。（街宣車などできちんと中止・順延の周知を行う。）
- (5) 9月16日（水）に千里キャンドルと協議・調整を行うとの報告があった。
千里キャンドル、セルシーとは引き続き協議・調整を行っていく。
- (6) フォトコンテストの応募方法が理事会にて5MB、一人一点までの応募となった報告と作品の応募は2L版にプリントアウトしたもの、データをメール添付にて交流室宛てに送信・SDカード等のメモリーを直接交流室へ持ち込む事を確認した。

【協議事項】

- (1) 新たに委員として参加のあった、ジェイグランの伏原氏を副委員長に選任した。
- (2) 正副委員長とは別に、A～Cに区割りしたブロック（参考マップあり。）に、ブロックリーダーを選任した。
（備品等の運搬・配置の指示、怪我など不測の事態に本部と緊急連絡を取るため。）
こぼれび通りリーダー：福岡鈴子
ローレル前～あかしや橋手前：国枝泰子
近隣センター：本部に近い事もあり、この日の会議ではまだ未定。
- (3) 地域への告知、呼び掛けのビラを杉本さんに作成頂く。（昨年使用したボランティア応募ビラ、詳細マップ等をベースに、9月20日の理事会までに新たに作成頂く。）
- (4) 道路占有許可申請は千里キャンドルに一括して申請して頂く。
（豊中市よりの要望。千里キャンドルとの協議でお互いきちんと確認を取る。）
- (5) 東町会館下、アソカ前の広場は、あくまでキャンドルのブース会場とし、近隣センターアーケード下に模擬店を配置する。机、椅子を可能な限り増やし、飲食頂ける場所を昨年よりも拡充する。この後の参加状況により、ブース会場・模擬店

スペース、机椅子の数量、配置は適切に調整する。

- (6) 昨年好評だった Y'sone 前の階段のハート型オブジェ（撮影スポットとして大人気）参考画像のように、この背景のもみじ橋通り坂にキャンドルが無いと寂しいので、もみじ橋通り坂下～もみじ橋手前までを開催場所として追加したい旨賛成を得られた。

（昨年度購入したティーライトが千数百個余っているのので、紙コップを若干数追加する事で対応可能。追加購入には予備費を充てる。）

- (7) メインブースに東町設立 50 周年を祝う象徴的なオブジェとなる、巨大ケーキの設置を検討する。（安価なベニヤ板などで作成する。参考画像あり。）
- (8) より参加しやすいように、参加募集の申し込み用紙を作成する。（参加内容、参加方法など、わかりやすい表記にする。ブース出展、紙コップ並べの手伝いのみ、片付けのみの参加、模擬店の出店など）
- (9) フォトコンテストの応募作品は、ふれあい文化祭にて掲示、投票を行う事とし、応募締め切りは 11 月 13 日、各賞選考の投票の締め切りはふれあい文化祭終了時とする。

【確認事項】

- (1) 引き続き千里キャンドル、セルシーと協議・調整を行っていく。
- (2) 現時点では共同ポスターの作成は中止の方向で理事会に諮る。
- (3) 模擬店は地域の方たちの出店申し出を優先し、昨年の回転焼きなどは最終候補とする。
- (4) 協議会購入の紙コップではなく、個人にて購入頂いた紙コップでも、もちろん沿道、ブースへの配置は大歓迎とする。
- (5) 昨年参加頂いた団体、個人、自治会には、参加の案内のみを呼び掛ける。
- (6) 委員それぞれに役割分担の割り当てを行った。（当日のボランティア受け付け等）
- (7) 昨年度開催時のタイムテーブルを提示し了承された。（1 時間前倒しに修正）

【次回会議】 2015 年 10 月 14 日（水）19 時より 交流室横 1 階集会所にて開催。
拡大実行委員会：10 月 24 日（土）19 時より 東町会館 2 階集会所にて開催。

以上

2015 年度夏祭り反省会会議録

【日 時】 2015 年 9 月 12 日（土） 19 時 05 分～20 時 30 分

【場 所】 新千里東町会館 2 階集会室

【出席者】 小川・竹下（OPH）、倉垣（ガーデンヒルズ）、勝久・南・網干夫妻（桜ヶ丘）、小田（ジオメゾン）、菅原・福岡（UR）、田中（ローレルコート）、伏原（ジェイグラン）、森川（子ども園）、中田（東丘小PTA）、辰巳（八中おやじの会）、中村（民生）、寺村（芝生）、上田（福祉）、和田（体協）、辰巳（八鼓）、今井・山田（事務局）

【欠席団体】 メゾン千里、シティハウス、アーバンライフ（連絡有）、グランドメゾン、3-3、防犯、ダディーズ、八中PTA、八中生徒会、八中地域教育協議会、シニアクラブ連絡会（連絡有）、人権協、千里ツインズ、ガールスカウト、豊寿荘、モコ、セントポプリ

【主な意見・提案】

1. 実施可否判断の方法と結果の住民への広報について
2. 夏祭りのあり方について、原点に立ち返って考えるべきときではないか
3. 開催時期、開催準備（前当日、告知）日程について
4. イベントの種目について
5. 模擬店の設営（委託・自主区分、種目、販売価格設定、店舗数）について
6. 企業からの協賛金集めについて、どのように考えるか

【特記事項】

1. 実施可否判断の方法と結果の住民への広報について
 - ・今回の気象状況下での実施可否判断は難しいものがあつた。今後のことを考えると実行委員長、副委員長に模擬店代表若干名を加えて合議制で判断する仕組みが望ましい。
 - ・中止決定後の住民への広報について、聞き取りにくい、徹底されなかったなどの問題が指摘された。一方、諸団体代表者を通じた告知、車での広報などの提言があつた。
 2. 夏祭りのあり方について、原点に立ち返って考えるべきときではないか
 - ・日本の気象は昨今大きく変化し、夏場は猛暑に加え、ゲリラ豪雨は当たり前の状況にある。今の形の夏祭りの継続が可能かどうか疑問に思う。
 - ・夏祭りが年々内容を付加してきたため対応仕切れない状態にあると思える。住民が楽しんだというより負担感が極めて大きかったように見えた。少なくとも、簡素化を考える必要がある。
 - ・協議会が引っ張ってきたが、「夏祭りを担ぐ会」などをつくって実施してもらう方法もある。
 - ・（その他） 秋祭りであってもよいのではないか。自治会でも同様の行事を実施するところもあり、自治会に分散させる方法もある。盆踊りはセルシーの盆踊りに集約してはどうか。北町のように子ども中心の祭りとは性格付けする方法もある。体育館内で出来る範囲の祭りも考えられる。
- 要するに、「住民が祭りに何を望んでいるか」という原点に立ち返って、時代に合った

祭りを考えるべきと思う。今回を機に、祭りのありかたを原点に立ち返って議論して頂きたい。

- ・夏祭り実行委員会（拡大実行委員会、夏祭りを担ぐ会等）の立上げの時期を早めたら、余裕をもって検討できると思う。現在の5月の理事改選後では遅い。これでは新メンバーが役割を理解できて実行できる状況になるには時間が足りない。因みに、ある町の夏祭りは、ほぼ1年前に実行委員会を立ち上げ準備していると聞いている。

3. 開催時期、開催準備日程（前当日、告知）について

- ・非常に多くの人に関わるイベントであり、開催時期、開催準備日程は固定化して、関係者に変更を原因とする負担をなくすべき。
- ・前日作業の中止によって予め分担した役割担当者に混乱を生じさせた、当日9時に集合させておきながら女性陣が手持ちぶさたになったなど問題があった。

4. イベントの種目について

- ・流行や楽しいことに敏感な女性の意見を大々的に取り入れるべき。
- ・高齢者と子どもだけの夏祭りとなっている。ダンスコンテストなど大学生、高校生も参加しやすいイベントを企画すべき。

5. 模擬店の設営（委託・自主区分、営業種目、店舗数、販売価格設定）について

- ・模擬店について、委託方式をやめて全て自主出店方式にしてもよいのではないか。
- ・出店数が多過ぎる感じもする。営業種目を絞る、複数の自治会共同出店を認めるなど検討してもよいのではないか。
- ・販売単価の設定について、経費総額の回収を見込んだ金額に設定すべきと考える。
- ・販売単価は、消費税UPにより基準としてきた百円単位では設定が難しいため見直しは必要と思う。金券による購買に戻せば110円という設定も容易になる、再検討するべき。

6. 企業からの協賛金集めについて、どのように考えるか

- ・今回精力的に訪問した結果、多数の協賛を得られ、且つ地域とのつながりを強める効果があった。但し、次回、協賛企業回りを考えると夏祭りはお盆明け翌週の開催とすべき。
- ・協賛金をここまで無理して集める必要があったか。簡素化しないと継続は難しい。

7. その他

- ・この時期の催しは気象変化を想定して最初から体育館を避難場所として確保されたい。
- ・雷を原因とした中止決定であったので、模擬店等の後片付けも中止させるべきであった。
- ・櫓を支えるロープが切れたため櫓組立てが遅れた。ロープの事前点検が必要。
- ・電気用配線のための土掘りの場所が変更された原因は、会場内の櫓の位置が固定していなかったことにある。
- ・電源工事を早く進めて欲しい。（13時には通電してほしい）
- ・水を必要とする模擬店については配置を考慮願いたい。
- ・机の返納先を机に表記して欲しい。

以上

2015 年度夏休み自習室の実施結果（報告）

協議会事務局長 山田秀樹

1. 実施結果概要

自習室を7月22日から8月25日迄24日間オープンした。利用者数は延べ50人と多いとはいえないが、リピータが多いことから、利用者は自習室に満足したと考えられる。

利用者を見ると、従来の東町会館に来る層よりも低い年齢層が来たことになり、しかも、初めて来た人が多かったことから、地域活動の将来の担い手候補の発掘につながると考えられ、その点からもこの事業は効果があったといえる。

児童生徒への指導をお願いした片柳充史氏は、希望した3人の保護者に対し進路指導をして頂き、その内容も好評だった。

初回ということもあり周知が不十分であったと思うが、利用者へのヒヤリングにおいて、利用した人が満足しており、しかも今後も利用したいと答えた結果から、この事業を今後も継続することで、自習室の存在が広く知れ渡り、利用者数も増加すると思われる。

2. 今回の自習室事業の結果

- ・勉強を教えてもらうというより、自習できる環境が求められている
- ・真面目に取り組む人が繰り返し利用している
- ・自習するためにきた大学生以上が多かった（今回対象の児童生徒の学習指導の求めに協力頂ける人に利用を認めた）

3. 今後の課題

- ・自習室のニーズがあることが分かったので、継続して実施する方法を検討したい。但し、対象は、実績を考慮し、小学5年生以上一般人まで広げたい。また、自習室の運営時間は、費用対効果を考慮し、交流室の運営時間内のみとしたい。

以上

* 自習室利用者の内訳

| | 登録 | 利用 |
|---------|----|----|
| 小学生 | 6 | 15 |
| 中学生 | 4 | 11 |
| 高校生 | 2 | 6 |
| 大人(兼講師) | 5 | 15 |
| 合計 | 17 | 47 |

交流室にある新聞委員会機器について

2015年9月20日

地域自治協議会事務局

標記機器に関して、「その経費の協議会負担」と「新聞印刷単価の特例設定」を、本年4月から実施したいと思っておりますので、承認をお願いします。

1. 新聞委員会機器経費の協議会負担について

交流室にある印刷機（理想科学 ORPHIS7200）とデスクトップパソコン（マウスコンピュータ）・プリンター（ブラザーMFC6490）各1台は、東町新聞委員会所有物件ですが、交流室スタート時点（2013年10月）で、コミュニティルームから交流室に移設し、その経費（保守料・用紙・インク代など）は新聞委員会が負担してきました。

2013年11月に決定した交流室の業務要領¹に対応して、2014年4月以降、これらの経費負担を地域自治協議会に移管する予定でしたが、諸般の都合により、昨年度の実施は見送りとなりましたので、今年度から実施します。

(1) 経費とその回収

経費：印刷機の保守料金（固定費 年間6万円）とインク・用紙代（比例費）

回収：印刷代（一般、地域3団体²）と新聞印刷代

(2) 印刷代バランス

単位 円

| | | A4 片面 | A4 両面 | A3 片面 | A3 両面 |
|----------------------|-------|---------|---------|---------|---------|
| 原価 ³ (1枚) | | 1.7~1.8 | 2.9~3.0 | 3.2~3.3 | 5.2~5.4 |
| 印刷代 | 一般 | 5 | 9 | 10 | 18 |
| | 地域3団体 | 3 | 5 | 5 | 9 |

2. 新聞印刷単価の特例設定について

新聞印刷代は、従来から印刷機の前原価相当の単価設定で4団体が負担してきましたので、次の通り、交流室印刷機の印刷単価も原価相当に設定し、本年4月から印刷実績枚数で新聞委員会に請求します。

| | | | | |
|-------|------|------|------|------|
| 新聞印刷代 | 1.75 | 2.95 | 3.25 | 5.40 |
|-------|------|------|------|------|

以上

¹ 印刷利用単価の設定など

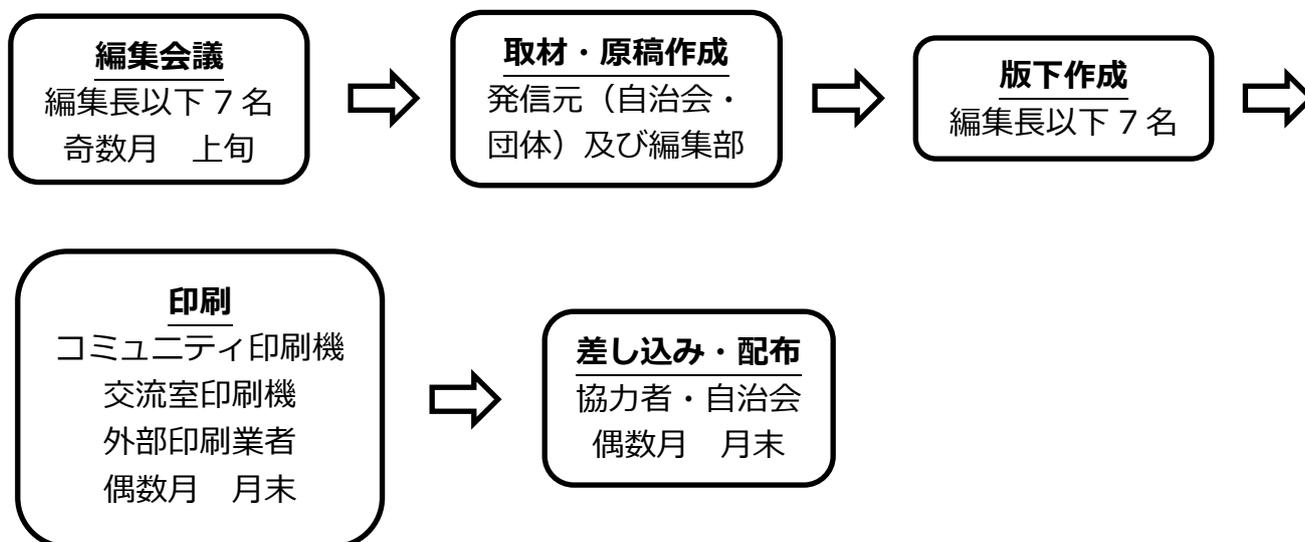
² 3団体（福祉・分館・防犯）の負担で印刷機を購入しているため、一般より安価に設定

³ 保守料：2万枚/月想定 0.25円/枚：原価 黒のみ～黒＋赤の混合印刷

<参考>

ひがしおか 編集・発行とその費用負担について

1. 発行の流れ



2. 発行部数

| | | |
|---------|----------|--------|
| ひがしおか | 奇数月 1日発行 | 5,200部 |
| ひがしまち案内 | 奇数年に1回発行 | 6,000部 |

3. 発行費用とその負担

発行費用 745,800円/年平均

費用負担(発信情報量で案分)

| | |
|----------|------------|
| 自治協議会 | 372,900円/年 |
| 分館・福祉・防犯 | 124,300円/年 |

以上